

研究課題名	当院で施行した喉頭気管支鏡検査21例のまとめ
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児科 氏名 畠中 大輔
研究期間	(西暦) 2022年 6月 ~ 2022年 12月
研究の意義・目的	新生児領域において呼吸器疾患の占める割合は大きく、また呼吸管理の進歩などにより、治療対象となる疾患も多様化してきている。こうした中で、直接的に気道を観察できる喉頭気管支鏡検査は診断、治療の有力な選択肢となっている。新生児領域においては、先天異常、人工換気や感染に伴う病変など、さまざまな気道病変が存在する。今回、喉頭気管支鏡検査を行うことにより適切な診断・治療につなげることができた症例をまとめた。これらの症例を振り返ることにより、当院において気道病変を有する児へのより良い管理につながることが期待でき、また、他施設の新生児医療従事者に対しても有意義な報告になると考えられる。
研究の方法 (対象期間含む)	当院で入院管理を行い喉頭気管支鏡検査を施行した児の臨床経過、検査データをまとめ、新生児関連の学会で報告し、医学雑誌にも報告を行う。検査データについては電子カルテより収集する。該当症例の入院期間は2018年1月23日から2022年5月31日である。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①後方視的研究のため、当院電子カルテより症例の臨床経過、検査データを収集する方法で施行される。検査データは電子カルテより印刷し、論文に記載した後、医局内のシュレッダーにより破棄処分する。学会報告、学術論文投稿終了後、データをPC上で破棄する。 ②電子カルテより以下の検査データを収集する：血液検査、レントゲン ③武蔵野赤十字病院新生児科：畠中大輔 ④武蔵野赤十字病院新生児科：畠中大輔（研究責任者）
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児科 氏名 畠中 大輔 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525